

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年12月23日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	北上市職員労働組合	代表者名	峰 正樹
担当者部署	自治研推進委員会	連絡先電話番号	0197-64-7584
担当者役職		担当者氏名	
		連絡先E-mail	
住所	024-0095 岩手県北上市芳町1番1号		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	北上市	連絡先部署	企画部政策企画課
担当者氏名		連絡先電話番号	0197-64-2111
		連絡先E-mail	

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大澤 昌
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	RPAとRPAツールの使い分け、パッケージソフトとRPAツールの違い、PRAの導入による効果をもとめるためには、BPR(業務プロセスの把握と見直し)が重要であること、そのために、ITベンダー任せではなく、自治体職員自身がBPRを行うスキルを持つこと、導入する作業の洗い出しにあたってRPAツールに適した作業を把握すること、RPAツールの導入効果をもとめるために、業務の見える化と導入後のさらなるBPRが重要であること、このことによって、エクセルマクロやアクセスの活用など業務プロセスの属人化からの脱却が図れること、RPAは職員にかわるものではなく、あくまでも業務の一部を補助するものだが、限られた職員数の中で増え続ける業務に対応するために活用が期待できることなど理解が進みました。
アドバイザーへの要望事項	RPAの導入を進める上で重要なものは、BPRに取り組むことによって、業務内容のスリム化、見える化が図られることだということ強調されていましたが、実証実験に取り組んでいる多くの事例では、ITベンダー主導で、現在の業務の流れに合わせて、RPAツールが作成されているとお聞きしました。コンサルティングなど理想的な進め方についてまで示していただけると、さらに理解が深まるのではないかと思います。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年12月16日	18時00分	20時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	北上市役所	最寄駅	北上市	
	所在地	岩手県北上市芳町1番1号			
	最寄駅からの交通手段	送迎車両またはタクシー			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	北上市職員	13人

#### 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	当市では、業務量の増加への対応と職員の働き方改革として、RPAの導入について検討が進められ、現場の職員の理解が不十分なまま、導入する具体的な業務の洗い出しが行われています。職員からは、どのような業務・作業への導入が効果的なのか、導入による職場の人員体制や職員の働き方への影響などへの不安の声もあり、そうした課題への理解を深めることが必要であるととらえております。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	RPAを導入する目的、導入によって期待される効果、庁内で必要な取り組みなど、労働組合内での理解を進め、検討段階から当局と課題を共有し、よりよい職場環境づくりと住民サービス向上をめざす関係の構築が期待されます。
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	RPAとRPAツールの使い分け、パッケージソフトとRPAツールの違い、PRAの導入による効果をもとめるためには、BPR(業務プロセスの把握と見直し)が重要であること、そのために、ITベンダー任せではなく、自治体職員自身がBPRを行うスキルを持つこと、導入する作業の洗い出しにあたってRPAツールに適した作業を把握すること、RPAツールの導入効果をもとめるために、業務の見える化と導入後のさらなるBPRが重要であること、このことによって、エクセルマクロやアクセスの活用など業務プロセスの属人化からの脱却が図れること、RPAは職員にかわるものではなく、あくまでも業務の一部を補助するものだが、限られた職員数の中で増え続ける業務に対応するために活用が期待できることなど講演いただきました。
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	RPAの導入によって、恒常的な人員不足の中で、増え続ける業務への対応と職員が本来取り組むべき課題に振り向けられること、BPRによって業務のスリム化・効率化・見える化が進み標準化が図られることなどが期待できることへの理解が深まりました。BPRに取り組むにあたっては、現状の業務の流れに合わせた部署ごとに行うのではなく、全庁的な見直しが必要であることが理解できました。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	今後、BPRや具体的に導入する業務の洗い出しを行う庁内の体制構築、職員の理解を深めるための研修の実施が重要だと考えます。特に、懸念されるのが、具体的な業務への導入段階で、一時的にでも増える業務と職員への負担を軽減するための方策を考える必要があります。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートの未提出者があり、25日までに、まとめて提出させていただきます。申し訳ありませんが、よろしくお願い致します。

5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	今後具体的な業務への導入が実験的に進められるにあたって、BPRにしっかり取り組むこと、ITベンダー任せではなく、導入の目的や期待される効果など明確に示しながら進められるよう、市当局と協力するとともに、現場の職員の理解が進むよう取り組む。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

